

知事コメント

令和4年10月27日(木)

沖縄県では、本日(10/27)の新規陽性者数は282名で、8月のピーク時から減少傾向が続いており、直近1週間の前週比は0.8前後で推移するなど、県内の流行は小康状態が続いています。

一方、全国では10月に入り、新規陽性者数が一時的に増加した地域が見られ、要因として、連休や社会経済活動の活発化による接触機会の増加等の影響も考えられることから、今後、本県も同様の動きを示さないか注視する必要があります。

こうした中、10月は県内各地で様々なイベントが開催されており、先週末には、沖縄の産業まつりが3年振りに奥武山公園で開催されました。各イベントは多くの参加者で賑わっており、感染対策を十分に行った上で開催されているものと認識しています。

今週末には、世界のウチナーンチュ大会が6年振りに開催されることとなっております。多くの来訪者が見込まれ、親戚やご友人と再会することを楽しみにしている方が大勢いらっしゃると思います。

しかし、接触機会が増えることで、感染リスクも高まります。そのため、参加予定の方、親戚、友人との交流を予定されている方は、毎日の健康観察を行い体調管理に努め、症状がある場合には外出を控える等、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

これから冬に向けて、新型コロナウイルスが今夏以上に感染拡大し、インフルエンザとの同時流行の可能性があり、医療がひっ迫するおそれがあるとの指摘があります。

そのため、発熱患者等が地域において適切な診療及び検査を受けられるよう、発熱患者への診療・検査を行う医療機関を「診療・検査医療機関」として指定しており、沖縄県ホームページに掲載しています。発熱や咳など

の症状があり受診を希望する場合、かかりつけの医療機関に相談するか、県コールセンター(098-866-2129)へご相談ください。

また、夜間や休日の急な子どもの病気対処に迷う場合、#8000番にご相談ください。平日19時から翌朝8時、土日祝日は24時間対応しています。但し、意識がはっきりしない、けいれんする等の症状が確認されたら、迷わず病院を受診しましょう。

新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が起きた場合、医療機関をすみやかに受診できない可能性があります。普段から、新型コロナ抗原検査キットや、解熱剤等の自宅療養に必要な医薬品を常備しましょう。

次に、オミクロン株対応ワクチンの追加接種についてですが、これまで、接種間隔が5ヶ月とされていたところ、10月21日から、3ヶ月に短縮されております。これにより、県広域ワクチン接種センターは、同日から、当該接種間隔に該当する方へ接種を実施しており、また、接種券をお持ちの5回目接種の方にも対象を拡大し接種を開始しました。

オミクロン株対応ワクチンは、従来型ワクチンを上回る効果と、今後の変異株に対する有効性が期待されております。

過去2年間、いずれも年末年始に感染の波が到来したことを踏まえ、重症化予防等の観点から、すでに罹患した方を含めて対象者の方は、できるだけ早く年内に、接種可能なオミクロン株対応ワクチンの接種をご検討ください。

また、インフルエンザワクチンは、重症化を予防する効果がありますので、65歳以上の方等の定期接種対象者で接種を希望される方は、早めに接種をご検討ください。

インフルエンザワクチンと新型コロナウイルス対応ワクチンは、同時接種が可能とされておりますので、接種の際、医療機関等へご相談ください。

現在、県内の流行は小康状態ですが、下げ止まりの可能性があり、少しの気の緩みが感染拡大につながります。特に、これから冬にかけて、新たな変異株の流行や人の移動に伴う接触機会の増加が見込まれる年末年始の感染拡大を十分警戒する必要があります。なお、感染への不安がある場合等に利用できる無料PCR検査は、11月以降も実施しますので、ご活用下さい。

感染防止と社会経済活動の両立を図るため、県民の皆さまにおかれましては、引き続き、ワクチン接種を最新の状態にして、3密の回避や換気、マスクの正しい着用など、基本的な感染対策を実践するようお願いいたします。